



国立大学法人

京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

教育創生リージョナルセンター機構

総合教育臨床センター

学びサポート室のご案内

学びサポート室は、特別支援教育に携わる教職員のみなさまと
関連する支援者のみなさまの実践をともに考え、サポートします！

★主な活動内容



幼児児童生徒育成支援

学校巡回、幼児児童生徒の行動観察やアセスメントの実施、個別の指導計画等に関する助言、発達障害等のある幼児児童生徒の担当教員へのアドバイスなどの支援



他機関及び地域連携支援

幼児期、学齢期から社会参加に至るまでの各段階での福祉支援機関等と学校の有機的な連携の推進や課題解決



キャリア発達支援

発達障害等のある幼児児童生徒への関係機関と連携した早期からのキャリア教育及び現職教員等を対象とした特別支援教育に関する研修や支援等の開発、実践研究



知的ギフテッド教育支援

幼児児童生徒への早期からのギフテッド教育の現状調査、知的ギフテッド児（特に2E児）を対象とした支援の開発及び実践研究

★プロジェクト



「京教式特別支援教育カリキュラム」プロジェクト

特別支援教育に関する研修プログラム開発による教職員及び学生の専門性の向上



「多様な学びサポートデータベース」プロジェクト

「すべての子どもたちに、学ぶ楽しさを。」をスローガンに、「まなサポDB」を作成・公開しています。
まなサポDBでは、学校教員や保護者、教育関係者など、多様な支援者の方々へ向けて、発達の凸凹のある子どもたちが学ぶことが楽しいと感じられるような、特別支援教育のヒントを発信しています。

▼まなサポDB



★目指す姿

通常学級における特別支援教育の充実

発達障害等のある幼児児童生徒の
学びの充実

インクルーシブ教育、キャリア教育の推進

不登校や引きこもり等の不適応事例の軽減

幼児児童生徒への支援と、そのデータの
蓄積、発信

学校、児童生徒、保護者、関係機関の
連携促進

特別支援教育に関する教師の資質向上



子どもの発達障害、より良い成長・発達を支える「学びサポート室」
—Kyotoで育む発達障害支援の輪—



原田 宗彦
京都教育大学長

京都府・市公立学校教職員並びに教育関係者のみなさまへ ご挨拶

本学は、「人を育てる知の創造と実践」を使命とし、多様な子どもたち一人ひとりの学びを支える教育の実現に取り組んでいます。とりわけ、本学が力を入れている「学びサポート室」では、教育現場における発達や学習に困難を抱える子どもへの支援をはじめ、学校との連携による実践的な支援と研究を推進しています。今後も、教職員や京都府・市教育委員会との連携を通じて、インクルーシブ教育の充実と社会への知の還元に努めていきます。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



学びサポート室の紹介



こたに ひろみ
小谷 裕実 教授

総合教育臨床センター長 兼 学びサポート室長

小児科医として、主に神経や発達領域に障害や特性のある子どもの診療を行った経験を活かし、教育現場で起こっている課題を医療の視点で見立てて解決の道筋を考え、子どもや保護者、教師を支援したいと考えています。見立ての先に、子どもを理解し、環境を整え、工夫を凝らそうとする変化が生まれる瞬間が大好きです。大人にとっての「困った子」が「困っている子」と捉えられることを願っています。学びサポート室では診療は行いませんが、医療とのかかわり方をアドバイスいたします。



researchmap

幼児児童生徒育成担当部門



すずき えいた
鈴木 英太 総合教育臨床センター
講師

通常の学級において特別支援教育の視点を中心に実践を行ってきた現場経験があります。学習指導をはじめ特別活動や生徒指導・教育相談など多くの領域がありますが、特別支援教育の考え方はすべてにおいて活用できます。「特別支援教育の視点から授業改善に取り組みたい!」「特別支援教育の校内体制を充実させたい!」そんな思いを持つ先生はたくさんいます。子どもたち、先生がともに笑顔で過ごせる学校づくりをサポートします。



researchmap

他機関及び地域連携支援部門



さかきはら ひさなお
榎原 久直 総合教育臨床センター
講師

関係性の中で子どもが育つという関係発達の視点から、発達相談や子育て相談、子どものカウンセリング（プレイセラピー）をこれまで行ってきました。子どもの発達の凸凹だけでなく、親子の愛着関係、虐待やDV、様々な精神疾患など、幅広い視点から親子のこころとからだの発達をサポートできるよう尽力していきたいと考えています。また、親子を取り巻く教育・（障害）福祉・保健医療・心理など様々な支援者同士の連携や、支援者を支えることを大切にしながら、親子や支援者全員が安心感と温もりをもって過ごせるような支援を提供できればと願っています。



研究室HP



researchmap

キャリア発達支援部門



かどした ゆうこ
門下 祐子 総合教育臨床センター
講師

特別支援学校の元教員で、現在は主に知的障害や発達障害のある方々への「性」に関する教育や支援についての研究をしています。キャリア発達は、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」です。必ずしも就労を目指すことだけでなく、自分らしい生き方とは何か、どうしたらそのような生き方ができるか「性」の観点から子どもたちも支援者も「共に」学びを深めていくことが重要だと考えます。まずは皆さまとの「対話」を通して、一人ひとりのキャリア発達について「共に」考えていきたいです。



researchmap

知的ギフト教育支援部門



いとう しゅん
伊藤 駿 総合教育臨床センター
講師

障害をはじめとする一人ひとりの教育的ニーズに応答できる、インクルーシブ教育について研究をしています。主な研究フィールドは日本とスコットランドですが、それ以外の国や地域でも研究を進めてきました。そうした中で、特にギフトの子どもたちに対する支援は日本においてなかなかされていないことに気がつき、これまで多くのご家庭の相談支援を行ってきました。まだまだ発展途上の領域ですが、皆さんと共にかねらへの教育支援が充実していけるように頑張りたいと思います。



researchmap

